

Tel:099-285-7285 Fax:099-285-7286

Mail:ka-kumiai@leaf.ocn.ne.jp HP:http://ka-kumiai.jp/

2021年度 中央執行委員会挨拶-----1p, 2p

## 2021年度 教職員組合中央執行委員会挨拶

2021年7月2日の教職員組合定期大会にて2021年度中執委員会がスタートしました。  
第1回組合ニュースでは、新執行部をご紹介いたします。

委員長  
城戸 秀之

日本では相変わらず「先進国」の中で教育研究に対する国費の支出が低水準にある状況が改善されることのないまま、経済成長を至上の価値とする政策の下で大学は歪な形での組織改革や大学間競争を強いられています。労働環境に関しても、運営交付金の削減が続く中で採用・承認の凍結、新年俸制の導入など働く者にとって大きな不利益をもたらす事態が進行しています。これらは大学の教育研究に大きな影響を及ぼすものですが、大学執行部のトップダウンの強化により有無を言わさない形で進められています。

このような厳しい状況に置かれた大学において研究教育環境、労働環境を改善するために、労働組合の果たすべき役割は大きなものと考えています。それを実現するためには、各支部の皆様のお力添えが必要となります。それを支えとして1年間使命を全うできるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

副委員長  
兼教育学部支部委員  
佐藤 宏之

副委員長を務めることになりました佐藤宏之(教育学部)です。現在、大学は自らの存続を第一に考えるようになり、大学での授業、研究、学生指導、行事のすべてが大学の存続という目的を満たすための手段に堕してしまっただけです。そのため、大学の存続に直結しない活動は、無駄なもの、役に立たないもの、とみなされるようになりました。大学を取り巻く状況の変化のなかで組合もまた、今までにはなかった新しい役割が求められているように思います。微力ながらお役に立てるようがんばります。

書記長  
中村 啓彦

このところ3年続けて組合活動に関わっています。2019年度の中執の副委員長を務めたのが縁で、2020年度は全大協九州の教研集会(鹿児島大会)の準備会に加わりました(2021年9月に鹿児島大学主催で開催予定でしたがコロナ禍で1年延期になりました)。そして今年度、書記長職が水産学部に回ってきたので、引き受けることにしました。私個人として、積極的に書記長を引き受ける動機があるわけではないのですが、近年の組合の状況がある程度わかっていること、本務の仕事量が増大している中で若手に負担をかけられないことなどが、自分自身の決断を後押ししました。この1年、書記長として組合活動を如何にリードするかという点ですが、私自身は、大学における労使関係の在り方や労働者側の権利の考え方に深い見識や行動規範をもっているわけではありません。個々の課題について周りの意見を聞きながら、問題解決に向けて正当性のある判断をしたいと考えています。鹿児島大学の教職員が置かれている立場は、異議を唱えなくてよいほど恵まれたものではなく、多くの問題点があると認識しています。具体的には、2021年度定期大会の第6号議案(2021年度活動方針案)にまとめられています(組合HPで閲覧できますので、ご参照ください)。1つ1つ問題点を掘り下げて労使で共有し、改善に向けた努力をしていきたいと考えています。

書記次長

井村 隆介

今年度、書記次長・全大協九州事務局次長を担当する井村隆介です。

所属は共通教育センターですが、組合は理学部支部になります。専門は地質学で、その研究成果をもとにした防災教育・啓発活動にも力を注いでいます。コロナ禍のなかで十分な組合活動はできないかもしれませんが、ポストコロナにつながるような1年にしたいと思いますので、よろしくお願いします。

法文学部支部委員  
兼城 糸絵

法文支部中執の兼城糸絵です。専門は文化人類学です。近年の法文支部は退職等に伴い人数が減少傾向にありますが、若手を中心にリクルートに努めつつ、支部としての活動に取り組んでいきたいと考えています。また、今年度は支部の垣根を越えた交流にも取り組んでいくつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。

理学部支部委員  
西田 詩

2021年度理学部支部活動方針概要をご紹介します。1. 教職員組合理学部支部の労働条件および労働環境の改善(特に有期雇用者の雇い止め問題の改善) 2. 「新しい生活様式」における教職員組合理学部支部の活動の活性化 3. キャンパス整備計画 4. 過半数代表者立候補とその支援(過半数代表者は教職員組合が過半数組合でないため存在するが、その役割は本来組合が果たすべきものであり一個人が通常の職務に加えて引き受けるには重責である。教職員の権利を守るため組合が全面的に支援する。) 5. 教職員組合の新規加入の促進

水産学部支部委員  
江幡 恵吾

6年ぶりに中執委員会に戻ってきました。

その当時は、水産支部の活動として騎射場で懇親会を開催して、組合員だけでなく教員・事務職員の方たちと交流を深めた思い出があります。

コロナウイルス感染症拡大が収束するには、もう少し時間がかかりそうですので、ニューノーマルの組合活動を模索していきたいと考えています。

農学部・共同獣医学部支部委員  
加治佐 剛

農獣医支部の加治佐です。初めての中執委員でわからないことばかりですが、よろしくお願いいたします。もうすぐ3歳になる長女と1歳の長男がいます。男性産産休制度が新設されますが、産休・育休が取れる仕組みや在宅勤務ができるようになると良いなあと思っています。SDGsに向けた取り組みが求められる中、働きやすい職場環境の構築に取り組んでいきたいと思っています。

桜ヶ丘支部委員  
山口 泰平

令和3年度 鹿児島大学教職員組合桜ヶ丘支部活動方針

桜ヶ丘事業所は病院という部局を擁しているため、一般の部局とは異なる労働環境があります。また雇用形態も研究科の職員と病院の職員があり、職種もさまざまです。また、採用、退職も多く、事務所、専従の事務員において細かいサービスを行っています。ここ2年はコロナ禍でワクチンの接種は医療従事者から始まりましたし、また実際に最前線で戦っている組合員もいます。

労働環境の改善に向けて要望を吸い上げていく工夫をしているところです。

2021年度もどうぞよろしくお願いいたします。